

MKTS マニュアル（株式投資法）【ver.5.1】

～株式投資で負けないための堅実な実践ルールブック～ ココナラ版

<はじめに>

本書は、私、森田ケイ（元：カブノマコト）の堅実な株式投資法である「MKTS」について、その実践方法と理論を掲載するものです。

まずは、簡単に自己紹介させていただきます。

MKマネーアドバイザー代表の森田ケイ（元：カブノマコト）と申します。資産戦略専門のFP（ファイナンシャルプランナー）をしています。

社会人1年目から、株式投資（信用取引）、FX、仮想通貨などの投資を試みてきましたが、失敗ばかりで運用資産（貯金）がゼロに。その悔しさから、「どうすれば負けないのか」について考え続けました。

大学で専攻していた会计学・財務分析の知識を踏まえ、日々研究と試行錯誤を積み重ねた結果、「株式投資で負けないための7つの原則」と、独自の株式投資法である「MKTS」を考案しました！

MKTSの理論に基づき売買することで、十分なリターンを得つつ、投資のリスクを最小化し、「負けない投資」を実現できます。私自身がMKTSによる投資を継続して実践し、資産を積み上げています。

難しい単語は避け、具体例を交えてわかりやすく記載しました。ぜひお読みいただき、ご実践ください！



<目次>

第 1 章：はじめに～負け続け投資から抜け出す方法～

第 2 章：MKTS の全体概要

第 3 章：投資で負けないための 7 つの原則（本質的な考え）

第 4 章：MKTS の理論・ルール

第 5 章：MKTS の具体的実践方法

第 6 章：よくある質問

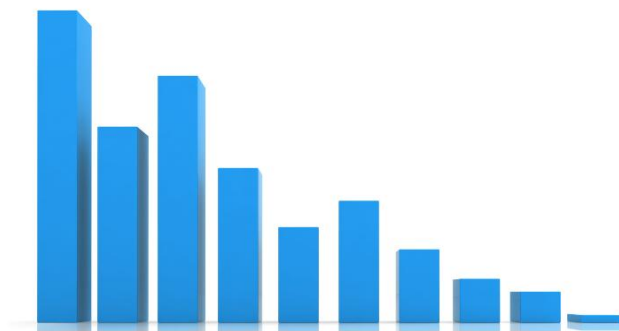
第1章：はじめに～負け続け投資から抜け出す方法～

本書をお手に取られた方は、失礼ながら、これまでの投資で思うように勝てなく、負けてきた方が多いと思います。

私自身もそうでした。

買ったら下がり、売ったら上がる。

言うなれば「負け続け投資」です。「なぜそうなるのか」、「自分には運がない」「向いていない」と諦めかけました。



でも、そこで考えました。一体なぜ負けるのか？

考え抜いて出した答えは・・・

「根拠・理論なく投資しているから」です。

例えば、指数やFXへの短期的な投資も「根拠・理論のない」投資です。

指数・為替の短期的な値動きに根拠・理論はありません。

日経平均が、ダウ平均が、ドル円が、明日上がるのか下がるのかは誰にもわからないことです。

自分の中で「根拠・理論」がないので、とりあえずの対象・タイミング・数量で買い、適切ではない価格で売ってしまうのです。

だいたい、周りの声等に惑わされて高値で買い、下落したときの焦りから安値で売ってしまいます。

そのような「負け続け投資」から抜け出しましょう！

そのためには、自分の中に揺るがない「根拠・理論」が必要です。



私が模索した結果、しっかりとした「根拠・理論」を構築できたのが、株式投資（個別株投資）でした。

なぜなら、企業自らにより、決算情報・財務情報という投資に必要な根拠となる情報が適切に開示されているからです。

それらの情報を基に、私が日々研究・実践・改善して構築した「根拠・理論」が、本書の MKTS になります。

必ず、皆さまのお役に立てると思います。ぜひ最後までお読みください！

第2章：MKTSの全体概要

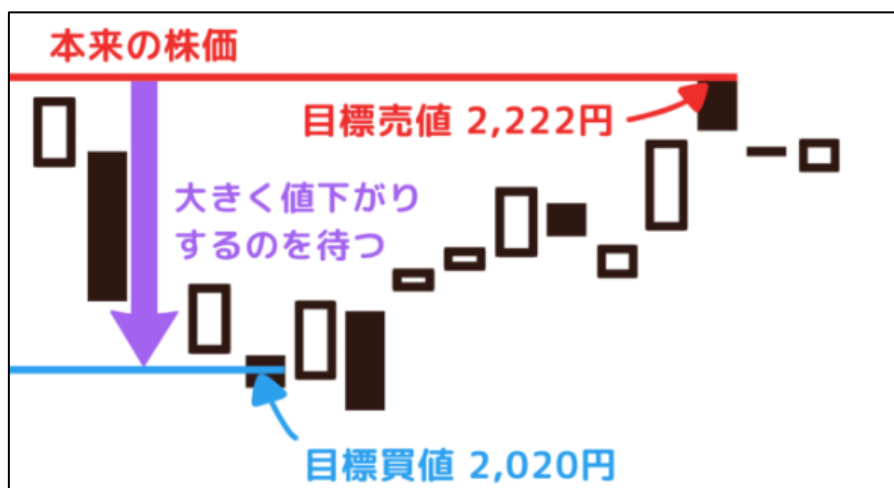
1. MKTSとは

MKTSとは、私が構築した、リスクを最小化する堅実な株式投資法です。

(MKTS：Morita-Kei Trading System)

MKTSは株式投資で負けないための7つの原則に基づき、リスクを極力排除するように理論的に構築されています。

一言でいうと、「財務優良企業が好決算だったとき、株価が目標買値まで下がったら買い、より下がったら追加で買い、目標売値で売る株式投資法」です。



2. MKTSの概要

MKTSの買い方・売り方の概要（真髄）は以下のとおりです。

投資用語も少し出てきますが、「投資用語解説集」で別途説明しています！

(1) 買い方の概要

① 銘柄分析・選定

まず、上場しているすべての銘柄のうち、純資産額、売上高、BPS、自己資本比率等を用いて、財務安全性の高い「優良企業」のみを絞り込み、「MKTS候補銘柄」とします。これ以外の銘柄には投資しません。

②好決算チェック

次に、MKTS 候補銘柄の決算短信を3ヶ月ごとに確認し、好決算（EPSの増加率が一定以上）だった銘柄を「好決算銘柄」としてチェックします。

③割安度チェック

さらに、好決算銘柄について、高値掴みしないよう割安度の判定を行います。割安と判定されたもののみを売買の候補銘柄として選びます。

④目標買値設定

上記の銘柄について、一定の目標買値を設定し、監視します。

⑤買い

株価が目標買値まで下がったら、購入します。

さらに株価が下落した場合は、追加購入します（戦略的ナンピン）。

（2）売り方の概要

①通常売却

原則として、株価が平均買値から一定値まで上がったなら（目標売値になったら）、必ず売却します。

②手仕舞い売却

決算から70日間を経過したら、「手仕舞い」として、少しでもプラスになっているものはすべて売却します。

できるだけ決算をまたがないようにするためです。

③決算またぎ⇒売却

プラスにならないまま次期決算を迎えたら、決算またぎの判定を行い、決算またぎ不可と判断する場合は、その時点の株価にかかわらず売却します。

決算またぎ可能と判断する場合は、一定の株価になるまで保有し続けます。

3. 「負けない投資」を目指せる理由

そもそも株式投資で負ける（損失が発生する）ケースは

- ① 株価が下がったときに損切りの的に売るケース
- ② 株価が下がってしばらく待っていたが買値まで戻らず仕方なく売るケースのどちらかです。

MKTS では、「財務優良企業が好決算のときに高値掴みしていない状態で購入している」という前提があるからこそ、①の損切りは行いません。むしろ安くなったら追加購入するのです。よって、①による負けの確率は0です。

前述の通り、MKTS では、株価が下がったら逆に儲けもので、追加購入します。初期購入時と同数を追加購入するので、平均買値が下がります。これにより、目標売値も下がるので、平均買値まで（トントンまで）株価が戻りやすくなります。よって、②による負けの確率も著しく下がるのです。

過去の実績において、追加購入しても平均買値まで（トントンまで）株価が戻らなかったケースは、10%未満です。このことから、過去実績では90%以上負けていません。

負けないためのポイントは、株価下落時の「追加購入」にあります。追加購入する資金がないと、追加購入できずに負けます。よって、初期購入時に買い過ぎず、一定程度の資金を確保しておく「余力確保ルール」が非常に重要となります。

MKTS は、巷によくある怪しげな投資法とは異なり、一度にあまり大きなリターンは求めず、堅実に勝ちを積み重ねていくスタイルですので、いちかばちか、資産を一気に倍増させたいという方には向きません。

リスクを最小化して、堅実に「負けない」投資がしたいという方にとって、MKTS は非常に適した株式投資法となります。

4. MKTSのメリット

MKTSのメリットは以下のとおりです。

- ・ 堅実・安全に資産を増やすことができる。
- ・ 所要時間は1日10分~20分程度。忙しい方でも簡単に実践可能。
- ・ 株価下落時も追加購入するだけなので落ち込むことがない。
- ・ 下落相場においても負けない。むしろ大きく勝つチャンスを掴める。

反対に、デメリットは以下のとおりです。

- ・ 資産を劇的に増やすわけではない。(バクチ的でスリリングな要素はない)
- ・ 銘柄分析に時間を要する。(時短するには専用ツールの導入が必要となる)

5. 過去実績

過去実績は、**負けない確率98%、年間利回り12~15%ほど**です。

利回りはびっくりするほどではありませんが、負けない確率が圧倒的です。

2020年2月~においては、新型コロナウイルスによる経済ショック(経済恐慌)もありましたが、その経済下においてもMKTSでは負けていません。むしろ、その後の上がりで大きく資産を増やしています。

6. MKTSで投資を楽しく実践

本投資法を活用してからは、しっかりとした根拠・理論を持っているので、「株価が下がったら追加で買えばいい」、「いつか必ずプラスになる」、「少なくとも配当金は確実に入ってくる」、という気持ちとなり、**投資のストレスがほぼなくなりました。**

実際に、過去98%負けていないからこそその余裕ですね。

何かの原因で相場が暴落したときも、「バーゲンセール来た! 買い時だ!」と逆に楽しくなるほどです。笑

また、常に株価チャートを見ていなくてもよくなり、非常に楽です。

会社員の方でも、お昼休みやトイレ休憩の5~10分程度の時間でカンタンに売買ができます。

<過去の取引例1>

<p>イノテック (9880)</p> <p>9880 / 東証1部 / 製造業</p> <p>イノテック</p> <p>売却 (1,529円)</p> <p>購入 (1,390円)</p> <p>上がったり下がったりに一喜一憂しない!</p> <p>購入後、上がったり下がったりしますが、その後は順調に推移して、最終的に+10%で利益確定! 4万円の利益となりました!</p>	<p>アマダHLDS (6113)</p> <p>6113 / 東証1部 / 機械</p> <p>アマダ</p> <p>売却 (1,175円)</p> <p>購入 (1,068円)</p> <p>一旦下がりますが、その後しっかり上がっています。</p> <p>かなりの底値で買うことができた銘柄です! 私の投資法で分析すれば、底値に近い株価で購入することができます! 結果、完勝です。</p>
<p>大太平洋金属 (5541)</p> <p>5541 / 東証1部 / 金属</p> <p>大太平洋金属</p> <p>売却 (2,200円)</p> <p>購入 (2,000円)</p> <p>しっかり底値で買えています! 安心です。</p> <p>こちらの銘柄も、底値で買えているのがよくわかると思います。買った金額以下にはなかなか下がりません。結果、完勝しました!</p>	<p>大豊工業 (6470)</p> <p>6470 / 東証1部 / 機械</p> <p>大豊工業</p> <p>売却 (840円)</p> <p>購入① (913円)</p> <p>購入② (821円)</p> <p>購入③ (776円)</p> <p>決算まだ (決算修正なし)</p> <p>目標下方修正</p> <p>株価が下がったときに恐れずにしっかり買うことで、結果的に負けません!</p> <p>もちろん株価が下がることもあります。しっかりと追加購入を行い、目標を下方修正して、平均購入価格付近で売却しました!</p>
<p>日本発条 (5991)</p> <p>5991 / 東証1部 / 金属製品</p> <p>日本発条</p> <p>売却 (873円)</p> <p>購入 (793円)</p> <p>追加購入ライン (713円) までは下がりません</p> <p>短期的な動きには動じず、しっかりと目標売値で売却完了!</p> <p>購入後いきなり下がったり、上がった後にまた買値まで戻ったりと株価が上下しますが、しっかり目標売値まで待ち、売却できました!</p>	<p>三菱瓦斯化学 (4182)</p> <p>4182 / 東証1部 / 化学</p> <p>三菱瓦斯化学</p> <p>売却 (2,328円)</p> <p>購入① (2,418円)</p> <p>購入② (2,176円)</p> <p>購入③ (2,055円)</p> <p>決算まだ (好決算)</p> <p>目標下方修正</p> <p>株価が下がったときに恐れずにしっかり買うことで、結果的に負けません!</p> <p>5月に購入した銘柄ですが、株価が下がったので、決算まだ後、追加購入を2回行い、平均購入価格+5%で売却しました!</p>

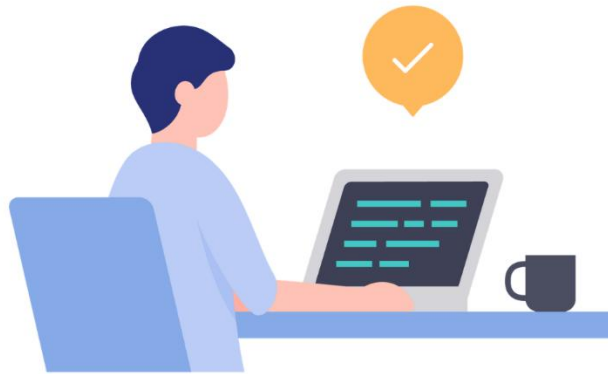
<過去の取引例2>

<p>日本電気硝子 (5214) 利益 +10万円</p> <p>購入 (2,480円) 売却 (2,726円)</p> <p>購入後、一旦下がったとしても気にせず持ち続けることで、最終的には目標売却価格まで到達しました！結果、完勝です。</p> <p>一旦下がるもの…</p> <p>購入後、一旦下がりますが、損切りせずにも気にせず持ち続けることで、最終的には目標売却価格まで到達しました！結果、完勝です。</p>	<p>日鉄鉱業 (1515) 利益 +12万円</p> <p>売却① (6,790円) 売却② (6,790円)</p> <p>購入① (6,170円) 購入② (6,170円)</p> <p>1つの期間に2回売買！(2回転) 利益も2倍！</p> <p>8月～10月において、株価が上下したので2回売買できた(2回転できた)銘柄です！利益も6万円×2回転=12万円となりました！</p>
<p>リケン (6462) 利益 +10万円</p> <p>売却 2,786円 購入 2,532円</p> <p>一気に上がり売却完了！</p> <p>以前、要チェック銘柄として紹介していました。ここ数日で一気に上がり、利益確定！現在はもっと上がってますね。</p>	<p>大和工業 (6444) 利益 +7万円</p> <p>売却 4,108円 購入 3,734円</p> <p>独自の投資方法に基づく銘柄分析と目標価格の設定により、かなりの底値で買えています！</p> <p>こちらも以前の投稿で要チェック銘柄として紹介していました。また3,734円まで下がったら買います！(2回転ねらい)</p>
<p>淀川製鋼所 (5451) 利益 +3万円</p> <p>売却 2,548円 購入 2,316円</p> <p>順調に上がり、売却完了！</p> <p>こちらも以前の投稿で要チェック銘柄として紹介していました。いいところ(2,316円)で買っているのが分かります。</p>	<p>エノモト (6928) 利益 ±0万円</p> <p>5月に 1,815円で購入 平均購入価格：1,664円</p> <p>売却 1,664円</p> <p>追加購入① (1,633円) 追加購入② (1,542円)</p> <p>こういうこともよくあります。株価が下がったらしっかり追加購入するので、基本的に負けません！</p> <p>5月に購入した銘柄ですが、株価が下がったので、追加購入を2回行い、平均購入価格で売却(手仕舞い)したケースです。</p>

第3章：投資で負けないための7つの原則（本質的な考え）

株式投資で負けないためには、以下の原則を守ることが重要です！
こちらの原則は、「投資」に関する本質的な考えなので、株式投資以外にも応用できます。投資を実践する際には、必ず心に留めておきましょう。

【原則1：堅実な投資を知る】



そもそも、投資というものをどう捉えているか。
ここがズれていると、どんなノウハウを学んでも、負けやすくなります。

初心者の方が抱きがちなのは、
「100万円を投資して1ヶ月で200万円にする」
みたいなイメージです。

確かに、投資にはそのイメージを実現する力がありますし、実際にそうやって大きく増やしている人もいます。
そして、そういう人たちが、どうしても目立って表に出てきます。

そのようなイメージを持つことで、

- 1つの銘柄に大きなお金を投じてしまう
- 信用取引でレバレッジをかけてしまう
- 高い利益率を謳う怪しい商品を買ってしまう

といった危険な行動につながってしまいます。

まずはこの考え方を改める必要があります。

私が考える、堅実な投資の考え方は…

「投資は1年で5%増えたらバッチリ」です。

例えば、100万円を運用していて、1年間で5万円増えたらどうでしょうか。正直、地味だと思いませんか？

でも、これが「堅実な投資」の成功なのです。

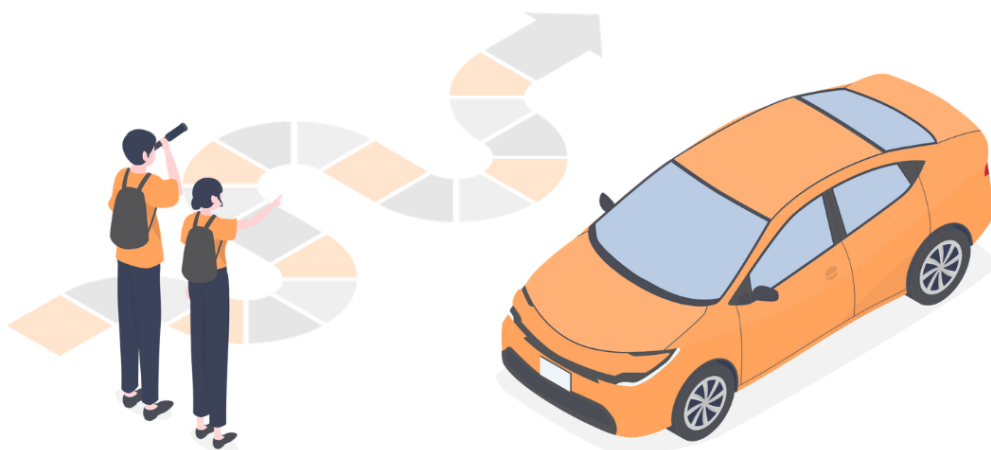
投資は、一気に人生を変える魔法ではなく、堅実に少しずつ増やしていくための手段です。まずは、「投資は1年で5%増えたらバッチリ」という感覚を身につけましょう。

ちなみに私の株式投資では、リスクを極力抑えつつ、年間10%以上の利益を狙っています！

できるだけリスクを抑えつつ、できるだけ利益（リターン）を大きくする。堅実な投資では、このバランスが重要です。

コラム：投資も自動車も安全運転で

投資は、「自動車」に似ていると思っています。



使い方ひとつで素晴らしい手段にもなりますし、逆に、身を滅ぼすものにもなり得るからです。

目的地に行くとき、歩いて行くよりも、車を使ったほうが圧倒的に早く効率的です。

でも、こんなことをすれば、事故を起こします。

- スピードを出し過ぎる
- 改造車に乗る
- 免許がないまま運転する

投資もまったく同じです。

- 利益（リターン）を狙い過ぎない
- 怪しい投資手法に手を出さない
- 堅実な投資のやり方を勉強する

これを守れば、投資は堅実なものになります。

このように「堅実な投資を知る」ことが、投資で負けないための第一歩です。

【原則2：信頼できる根拠を持つ】



私は、信頼できる根拠や理論のない投資は、ギャンブルだと思っています。例えば、指数やFXの短期売買などは、根拠や理論のない投資と言えます。

なぜなら、日経平均が、ダウ平均が、ドル円が、明日上がるのか下がるのかは、誰にもわからないからです。

「私にはわかる！」と言っている人がいたら、それは神様か嘘つきです。

投資対象に信頼できる根拠や理論がないと、

- ・周りの声に惑わされて高値で買う
- ・下落したときに、焦りや不安から安値で売る

このようになってしまいます。

何かに投資をするなら、「将来、その資産の価値が上がる」と自分の中で確信していなければいけません。

その確信がないから、少し下がっただけで損切りしたり、相場全体が下がっただけで怖くなって売ってしまったりします。

堅実な投資をするためには、その資産への揺るぎない信頼が必要であり、そのための根拠や理論が必要となります。

私が一番、根拠や理論を持ちやすいと思っているのが、株式投資です。

株式投資では、企業の財務状況や決算内容など、さまざまなデータが、財務諸表という形で公表されています。

しかも、それらの数字には、監査法人や公認会計士による監査が入っており、適正性まで確保されています。

これだけ精度が高く信頼できる情報を、簡単に手に入れることができます。これを使わない手はないです。

その根拠をしっかりと持っていれば、銘柄に対して信頼と自身を持つことができます。投資するなら、その対象についてしっかり分析して、信頼できるもののみを買いましょう。

そして、周りが何を言おうと「自分はこの根拠を信じる」という軸を持つこと。
堅実な投資のためには、「信頼できる根拠と自信」が非常に重要です。

【原則3：判断は「事実」で行う】



「他人の主観的な情報に惑わされない」ということです。

投資をしていると、どうしてもその評判や噂が気になって、SNSのインフルエンサーだったり、掲示板だったり、つい見てしまいますよね。
そういった場所には、色々な人の、さまざまな主観的な意見が好き勝手に書かれています。

- これはクソ株だから、もう全部売った
- 高騰するから全力で買った方がいい
- これから絶対暴落する

そういった誰かの情報に惑わされて、自分の投資のやり方を歪ませてしまっ
てはいけません。

中には、あらかじめその銘柄を空売りしておいて、掲示板などにわざと悪いこ
とを書き込み、株価の下落を狙う人もいます。

掲示板やSNSの情報をもそのまま信じるのは、かなり危険です。

そこで大事になるのが、「判断は事実で行う」ということです。情報を鵜呑みにせず、その情報は事実なのか、出所はどこなのかという点を、必ず確認するようにしてください。

銘柄を買うときも、

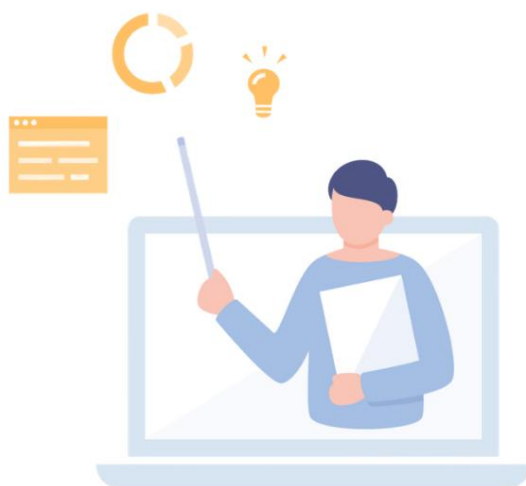
- ・インフルエンサーが良いと言っていたから
 - ・経済評論家が上がると言っていたから
 - ・株式情報誌に「狙い目」と書いてあったから
- こうした理由で買ってしまうのはよくないです。

私が株式投資で必要だと思っている情報は、公式に出されているものだけです。具体的には、財務情報、決算情報、IR情報（株主公開情報）。これだけで十分だと思っています。

それらの客観的な事実を把握したうえで、この銘柄を引き続き信頼できるのかを、自分自身で判断して売買をしていくことが重要です。

この軸を持てるようになると、他人の声に振り回されることがなくなり、安定した投資をすることができるようになります。

【原則4：自分のルールを決めて守る】



投資を行う際に、

- ・何を買うのか（売るのか）
- ・いつ買うのか（売るのか）
- ・いくらで買うのか（売るのか）
- ・どれだけ買うのか（売るのか）

この明確なルールがないと、いざ売買になったとき、必ず迷いが生まれます。

例えば、優良銘柄が充分安い水準の株価になっていたとしても、

「もっと下がるんじゃないか…」

「できれば底値で買いたい…」

こうした考えが頭をよぎります。

その結果、考えているうちに株価が急に上がってしまい、買い逃してしまう。

これは本当によくあります。

すでに保有している銘柄が大きく値下がりしたときも、同じことが起きます。

本来であれば、安くなったら買い増すことで平均買値を下げて、より負けにくい状態を作れる場面であったとしても、

「もっと下がるんじゃないか…」

「怖くて買えない…」

という不安から、買えなくなってしまいます。

その結果、かえって負けてしまう可能性が高まります。

投資の世界では、特に短期的な値動きは、誰にもわかりません。

だからこそ、事前にルールを決めておかないと売買のタイミングをつかむことはできません。

私は、株式投資を実践するための自分のルールを決め、それを守って実践してきました。

自分のルールの実践を積み重ねていけば、売買の自信につながります。

さらに良いことは、この考え方が身につくと、短期的な値動きで一喜一憂しな

くなります。

「自分は、ルールに従って売買するだけ」

そう思えるようになると、余裕を持って株式投資を実践できるようになります。

値下がりも怖くなくなり、むしろ値動きを楽しみながら投資を実践しています。

このように、「自分のルールを決めて守る」ことは、非常に重要な原則です。

【原則5：下がったら追加で買う】



よくある投資のレクチャーでは、「下がったら損切りすべし」と教えます。

ですが、私は、投資対象が信頼できるものであるならば、損切りせずにむしろ追加で買うべきだと考えています。

なぜなら、信頼できるものを買っているのであれば、価格が下がったときは、むしろ「買い時」だからです。

投資の大原則は、「安く買って、高く売る」ことですよね。

損切りというのは、「下がったら売る」ので、投資の大原則とは、真逆の行為です。良いものが安くなったら追加で買うべきです。

私はそれを「戦略的ナンピン」と呼んでいます。

もちろん、損切りには損失を小さく抑えるという効果があります。
ですが、信頼できる良いものが少し値下がりしただけですぐ売ってしまうのは、
圧倒的にもったいないです。

せっかく良い銘柄が値下がりしてくれたのであれば、買いの大チャンスです！
これは、根拠と理論を持って、本当に信頼できるものを買っているからこそで
きる判断です。

※信頼できないものについては、そもそも買うべきではないと思いますが、も
し買ってしまっていた場合は、キッパリ損切りすべきだと思います。

さらに、値下がり時に買うこと（戦略的ナンピン）により、負けにくくなる効
果もあります。

値下がり時に買えば、平均買値が下がります。
そうすると、価格がプラスマイナスゼロに戻るまでのハードルが下がります。
結果として、より負けにくい状態を作ることができます。

これができるようになると、投資で大きく負けることはかなり減ると思います。

銘柄を信頼できていなければ、下がったときに、怖くて買えません。
売買ルールが決まっていなければ、「いつ買うのか」を判断できません。

だからこそ、これまでお伝えしてきた、

- ・原則2：信頼できる根拠を持つ
- ・原則4：自分のルールを決めて守る

この2つの原則が重要となるのです。

良いものが下がったら追加で買う。
これを意識すると、投資のスタンスが変わります。

皆さんは、もったいない「損切り」をしていませんか？

【原則6：余力を確保する】



これは、原則5でお伝えした「下がったら買う」という考え方と、強く関係しています。

当然ですが、下がったときに追加で買うためには、余力が必要だからです。

例えば、資金が100万円で、最初から100万円すべてを使って買ってしまったら、値下がり時に追加で買うことができません。

最初を買う金額は「資金全体の半分まで」にしておくべきだと考えています。

たしかに、余力を多く残せば残すほど、実際に運用している金額は少なくなるので、投資効率と利益（リターン）は下がります。

ですが、負けない投資を目指すのであれば、「下落時に追加で買える状態を作っておく」のが非常に重要です。

大きく下落する局面が来たときには、値下がりしている銘柄を追加で買うことを最優先に考えます。

そのために、少しでも含み益が出ている銘柄があれば売り、その資金で余力を確保します。こうすることで、値下がりしている銘柄を追加で購入し、助けることができます。

その結果、より負けない投資を実現しやすくなります。

下落局面では、普段温存している資金を追加買いで利用できるのも、投資効率上がり、利益（リターン）が大きくなります。

大きく値下がりしたときは「ラッキー！」と思い、喜んで追加買いしています。

良いものが安く買えるうえに、自分の資金をたくさん運用できるチャンスだからです。

それができるのも、普段から「資金の半分は余力として残しておく」というルールを決めて、それを守っているからこそだと思っています。

【原則7：銘柄を分散する】



分散投資はよく聞くとおもいますが、意外とできていない方が多いです。

1つの銘柄に資金を100%投じてしまうと、その銘柄に何かあったときの影響をフルで受けることになります。

株式投資をしている以上は、突然の下落リスクは常につきまといます。

どれだけ財務優良で、決算良好な優良企業であっても、ある日突然、以下のような事態になることもあります。

- 業績の大幅な下方修正が発表される
- 火災や事故を起こしてしまう
- 不祥事や事件を起こしてしまう

こういったことにより、一気に株価を下げってしまうことも実際にあります。

もし、その1銘柄に資金を100%入れていたら、その損失をすべて受けることになります。

だからこそ、銘柄は必ず分散した方がいいと私は考えています。

私のルールでは、1銘柄に対して初期投入するのは、「資金全体の5%まで」にしています。

例えば、資金全体が100万円であれば、1銘柄に初期投入する金額は5万円までです。

このルールで、10銘柄にそれぞれ5万円ずつ、合計で50万円することで、資金の半分を余力として確保しつつ、銘柄分散をします。

もし、1銘柄が大きく下落して、仮に株価が半分になってしまったとしても、資金全体としては、2.5%の損失で済みます。

これくらいであれば、金額的にも精神的にもそこまで大きなダメージにはなりません。

その銘柄が、信頼を失うレベルの問題※を起こしたのであれば、損切りをする

必要があります。

※経常利益がマイナス（事業が赤字）になった、配当利回りが1%を切った、大規模な事故や事件・不祥事が発生したなど。

そのときも、大きな資金を入れていなければ、決断がしやすくなります。

一方で、信頼を失うほどではない下落であれば、焦る必要はありません。株式投資の大きなメリットは、しっかり配当金が出る銘柄を選んていれば、株価が下がっていても、配当金を得られることです。それだけで年間2%~3%ほどの利益になります。

そうした配当を受け取りながら、株価が戻って、プラスマイナスゼロになるまで、ゆっくり待つこともできます。

だからこそ、「銘柄分散」の考え方は、負けないための重要な原則だと思っています。

これは、個別株投資のみならず、自分の資産全体をどう配分するか、という投資方針を考えるうえでも重要な原則になります。

【まとめ：株式投資で負けないための7つの原則】

- 原則1：堅実な投資を知る
- 原則2：信頼できる根拠を持つ
- 原則3：判断は「事実」で行う
- 原則4：自分のルールを決めて守る
- 原則5：下がったら追加で買う
- 原則6：余力を確保する
- 原則7：銘柄を分散する

第4章：MKTSの理論・ルール

1. 対象銘柄（何を）

MKTSでは、以下の方法で銘柄を選定します。

- （1）MKTS 候補銘柄の選定
- （2）好決算判定
- （3）割安度判定
- （4）買い銘柄の選定

この厳しい選定基準で「財務優良で決算良好な割安銘柄」を選定していきます。それぞれについて説明していきます。

（1）MKTS 候補銘柄の選定

数多くある銘柄の中から、MKTS で取り扱う銘柄（MKTS 候補銘柄）を選定します。1年に1回（毎年6月）の作業としています。

上場しているすべての銘柄のうち、財務安全性が高く、多く取引されている優良企業のみを絞り込みます。同時に、財務不振な企業や理外の値動きをする企業を排除します。

MKTS 候補銘柄とする具体的な条件は次のとおりです。

<MKTS 候補銘柄の条件>

- ・東証プライム市場上場企業
- ・BPS：1,000円以上
- ・自己資本比率：50%以上
- ・平均売買代金（20日平均）：100,000千円以上
- ・当座比率：120%以上
- ・PBR：1.5倍以下（これ以下で、200銘柄程度になるように調整）
- ・決算月：3、6、9、12月

（2）好決算判定

EPSについて、前回のEPSとの比較を行うことで、MKTS 候補銘柄の中から「好決算銘柄」を探します。

ここで、前回のEPSと今回のEPSの増減率を「EPS増減」と呼びます。

(例) 前回のEPS：100、今回のEPS：110
⇒EPS増減：+10% (小数点以下切捨で算出)

つまり、「年間予想利益が前回に比べてどれだけ増えたか」です。

年度末決算(第4四半期)においては、「当期EPS」(当年度実績)と、「次期EPS」(次年度予想)の2つが開示されますが、「当期EPS」については前回の次期EPSからの増減(当期EPS増減)を、「次期EPS」については「当期EPS」からの増減(次期EPS増減)を計算し、両方を加味します。

(例) 前回EPS：100、今回EPS：110(当期EPS) / 150(次期EPS)
⇒EPS増減：+10%(当期EPS増減) / +36%(次期EPS増減)

好決算銘柄の判定は、次のとおり行います。

①第1四半期～第3四半期決算

ア. $10\% \leq$ EPS増減のとき

好決算銘柄(◎：新規)と判定します。

※直近の第4四半期(年度末)の当期EPS増減 $< 0\%$ だったときは、 $0\% \leq$ 次期EPS増減を条件として、次の第1四半期の判定は、第4四半期(年度末)の当期EPSからの増減(の合計)で考えます。

イ. $0\% \leq$ EPS増減 $< 10\%$ のとき

(ア) プラ転のとき(EPSがマイナスからプラスに転じたとき)

好決算銘柄(◎：新規)と判定します。

(イ) 前回も好決算銘柄だったとき

好決算銘柄(○：継続)と判定します。

上記以外の場合は、好決算銘柄に該当しません。

ウ. EPS 増減<0%のとき

悪決算となります。

保有銘柄が悪決算となった場合は、売買管理シートに「×」を入力します。

②第4四半期（年度末）決算

ア. $10\% \leq (\text{当期 EPS 増減} + \text{次期 EPS 増減})$ のとき

好決算銘柄（◎：新規）と判定します。

ただし、 $0\% \leq \text{当期 EPS 増減}$ が前提条件です。

イ. $0\% \leq (\text{当期 EPS 増減} + \text{次期 EPS 増減}) < 10\%$ のとき

プラ転のとき（EPS がマイナスからプラスに転じたとき）は、好決算銘柄

（◎：新規）と判定します。

前回は好決算銘柄だったときは、好決算銘柄（○：継続）と判定します。

ただし、いずれの場合も、 $0\% \leq \text{当期 EPS 増減}$ が前提条件です。

<好決算判定まとめ>

前提条件 1		前提条件 2	判定	マーク
第1四半期～第3四半期決算	第4四半期（年度末）決算			
$10\% \leq \text{EPS 増減}$	$10\% \leq (\text{当期 EPS 増減} + \text{次期 EPS 増減})$ ※前提： $0\% \leq \text{当期 EPS 増減}$	—	好決算銘柄	◎
$0\% \leq \text{EPS 増減} < 10\%$	$0\% \leq (\text{当期 EPS 増減} + \text{次期 EPS 増減}) < 10\%$ ※前提： $0\% \leq \text{当期 EPS 増減}$	プラ転	好決算銘柄	◎
		前回好決算	好決算銘柄 （継続）	○
		前回好決算 でない	—	—
上記以外		—	—	—
※当期 EPS 増減：（今回の当期 EPS - 前回の次期 EPS） / 前回の次期 EPS × 100（%） ※次期 EPS 増減：（今回の次期 EPS - 今回の当期 EPS） / 今回の当期 EPS × 100（%）				

ややこしいと感じますが、ざっくり言えば「EPSが前回に比べて+10%ほどになっていれば好決算！」と判定します。

判定について詳しく聞きたい場合は、個別サポートをご利用ください。

(3) 割安度判定

銘柄の割安度を判定します。その具体的な計算方法を記載します。

○加点項目

- $PBR \leq 1.0$ 倍…+1 点
- $PBR \leq 0.8$ 倍…+1 点
- $PBR \leq 0.6$ 倍…+1 点
- $PBR \leq 0.5$ 倍…+1 点
- $PER \leq 15.0$ 倍…+1 点
- $PER \leq 12.0$ 倍…+1 点
- $PER \leq 10.0$ 倍…+1 点
- $PER \leq 8.0$ 倍…+1 点
- $ROE \geq 8.0\%$ …+1 点
- $ROE \geq 10.0\%$ …+1 点
- $ROE \geq 12.0\%$ …+1 点
- $ROE \geq 14.0\%$ …+1 点
- 配当利回り $\geq 2.5\%$ …+1 点
- 配当利回り $\geq 3.0\%$ …+1 点
- 配当利回り $\geq 3.5\%$ …+1 点
- 配当利回り $\geq 4.0\%$ …+1 点
- 年初来安からの上昇倍率 ≤ 1.2 倍…+1 点
- 年初来安からの上昇倍率 ≤ 1.15 倍…+1 点
- 年初来安からの上昇倍率 ≤ 1.1 倍…+1 点
- 年初来安からの上昇倍率 ≤ 1.05 倍…+1 点

○減点項目

- $PBR \geq 1.2$ 倍…-1 点
- $PBR \geq 1.5$ 倍…-1 点

- PBR \geq 1.8 倍…-1 点
- PER \geq 20.0 倍…-1 点
- PER \geq 25.0 倍…-1 点
- PER \geq 30.0 倍…-1 点
- ROE \leq 6.0%…-1 点
- ROE \leq 4.0%…-1 点
- ROE \leq 2.0%…-1 点
- 配当利回り \leq 2.0%…-1 点
- 配当利回り \leq 1.5%…-1 点
- 配当利回り \leq 1.0%…-1 点
- 年初来安値からの上昇倍率 \geq 1.3 倍…-1 点
- 年初来安値からの上昇倍率 \geq 1.4 倍…-1 点
- 年初来安値からの上昇倍率 \geq 1.5 倍…-1 点

理論上の最大評価点は 20 点、最低評価点は-15 点となります。
 評価点に応じて、以下のランクに振り分けます。

<割安度ランク>

- Sランク：8 点以上…超割安株
- Aランク：2 点～7 点…割安株
- Bランク：0 点～1 点…普通株
- Cランク：-1 点～-9 点…割高株
- Dランク：-10 点以下…超割高株

(4) 買い銘柄の選定

上記の(1)～(3)の基準を突破した「財務優良・決算良好・割安」銘柄について、株価を監視します。

目標買値以下となったものが買い銘柄となります。

目標買値は以下のとおりです。

Sランク：目標買値…決算発表日の5DMA (5日間の平均株価)

Aランク：目標買値…決算発表日の5DMA (5日間の平均株価) -5%

2. 売買期間（どの期間で）

MKTS では、直近の決算短信で好決算の銘柄しか売買しません。

決算短信は3ヶ月ごとに発表されるので、MKTS で購入・売却する期間は、基本的に3ヶ月以内となります。

決算発表日から70日間を「通常売買期」、残りの約20日間を「手仕舞い期」とします。

通常売買期の終了日が「購入期限」となり、次の通常売買期となるまで、新規購入しません。手仕舞い期の初日から手仕舞い（売却整理）を開始します。

決算 発表日	~		20日前	~	決算 発表日
例 2/10	~		例 4/21	例 4/22	例 5/10
好決算期間（約90日間）					
通常売買期 （70日間）			手仕舞い期 （約20日間）		
購入開始	通常どおり売買（10%狙い）	購入期限	売却開始	~	決算また ぎ判断

<MKTS で新規買いをしない（手仕舞いをする）時期>

- ①第1四半期決算短信に向けた手仕舞い期： 7月下旬～ 8月中旬
- ②第2四半期決算短信に向けた手仕舞い期： 10月下旬～ 11月中旬
- ③第3四半期決算短信に向けた手仕舞い期： 1月下旬～ 2月中旬
- ④年度末決算に向けた手仕舞い期： 4月下旬～ 5月中旬

3. 購入タイミング（いつ・いくらで）

（1）初回購入

①初期購入

目標買値以下になったら購入します。

②追加購入

初期購入後、購入した株の株価が下落し、以下の状況となった場合には、その都度、初期購入と同株数を追加購入します。これを「戦略的ナンピン」（以下、ナンピン）と呼びます。ナンピンは、信頼できる銘柄を保有している限り、ずっと実施していきます。

<ナンピンルール>

- ・ナンピン1：初期購入の買値から10%減（よくある）
- ・ナンピン2：初期購入の買値から20%減（たまにある）
- ・ナンピン3：初期購入の買値から30%減（あまりない）
- ・ナンピン4：初期購入の買値から40%減（恐慌）
- ・ナンピン5：初期購入の買値から50%減（大恐慌）

※このうち、ナンピン1～2まで株価が下落することはよくありますが、ナンピン3～4まで株価が下落することは滅多にありません。2020年のコロナショックの際には、ナンピン3～4、モノによっては50%減のナンピン（ナンピン5）まで発動しました。ナンピン用の余力はしっかり確保していきましょう。（余力確保ルールについては次ページ参照）

（2）再購入

同じ好決算期間で銘柄売却後、株価が下がったら、再度購入します。

目標買値：前回の平均買値として、証券会社のアプリでアラートを設定、もしくは指値買い注文を出しておきます。

購入後の追加購入（ナンピン）は、初回購入のときと同様に行います。

<購入方法まとめ>

前提条件	初回購入		再購入	
	初期購入	追加購入	初期購入	追加購入
Sランク	決算発表日の5DMA	初期購入時の買値 -10% (ナンピン1)、 -20% (ナンピン2)、 -30% (ナンピン3)、 -40% (ナンピン4)、 -50% (ナンピン5) …	前回購入時の 平均買値	初期購入時の買値 -10% (ナンピン1)、 -20% (ナンピン2)、 -30% (ナンピン3)、 -40% (ナンピン4)、 -50% (ナンピン5) …
Aランク	決算発表日の5DMA-5%			

4. 購入数量 (どれだけ)

銘柄の購入数量 (どれだけ買うか) は、以下の「余力確保ルール」「銘柄分散ルール」に基づき、決めていきます。

2つのルールは負けないためにかなり重要なので、必ず守りましょう！

<余力確保ルール>

$$\boxed{\text{初回購入の上限金額} = \text{運用資金合計} \times 50\%}$$

つまり、運用資金合計の50%はナンピン資金として確保しておき、初期購入はしない、ということになります。

なお、初期購入後、売却した分は初期購入分から除きます。

(売却した分の枠は別の購入に充ててもOKです。)

※恐慌や大恐慌 (相場暴落) の予兆が見られたときは、当該時点で売れる銘柄はすべて売る、新規買いを控えるなどして、「運用資金合計の75%」の余力を確保することを推奨します。

<銘柄分散ルール>

$$\boxed{1 \text{ 銘柄の初期購入上限} = \text{運用資金合計} \times 5\%}$$

つまり、投資先は分散させよう、ということです。

上限金額を守ることで、銘柄を10銘柄程度購入することができます。

<余力確保ルールまとめ>

運用資金合計 例 100万円	初期購入資金 例 50万円	0%~50%	1銘柄あたり購入上限は 運用資金合計の5% ⇒10銘柄以上保有
	追加購入資金 例 50万円	50%~100%	初期購入しない 追加購入に充てる

(例) 運用資金合計が 100 万円の場合

初期購入の上限金額：100 万円×50%=50 万円となります。

1 銘柄の購入上限は 5 万円（100 万円×5%）です。

1 銘柄 5 万円を上限に購入していき、累計株式保有が 50 万円に達したらもう買わない、ということになります。

※上記例のときの購入明細

銘柄	株価 (円)	1 銘柄の 購入上限 (円)	購入数量 (株)	購入金額 (円)	累計株式保有額 (円)
株式 1	3,000	50,000	17	50,000	50,000
株式 2	2,000	50,000	25	50,000	100,000
株式 3	1,000	50,000	50	50,000	150,000
株式 4	3,000	50,000	17	50,000	200,000
株式 5	2,000	50,000	25	50,000	250,000
株式 6	1,000	50,000	50	50,000	300,000
株式 7	3,000	50,000	17	50,000	350,000
株式 8	3,000	50,000	17	50,000	400,000
株式 9	2,000	50,000	25	50,000	450,000
株式 10	1,000	50,000	50	50,000	500,000
これ以上は初期購入しない。					

5. 売却方法

(1) 通常売買期

目標売値：平均買値+10%として、証券会社のアプリでアラートを設定、もしくは指値売り注文を出しておきます。より保守的に進めるなら、目標売値を平均買値+5~9%で設定しても問題ありません。

(2) 手仕舞い期

① 株価が平均買値以上の場合

株価が平均買値以上であれば、その株価で売却します（売り切り）。単元株の場合は、平均買値で指値売り注文を出します。

② 株価が平均買値未満（マイナス）の場合

ア. 手仕舞い期の終了日前

手仕舞い期の終了（次期決算発表日）までそのまま様子を見ます。平均買値以上となったら、その株価で売却します（売り切り）。

イ. 手仕舞い期の終了日

平均買値（トントン）まで株価が戻らずに、決算発表日を迎えた場合は、保有継続して「決算またぎ」をします。決算またぎはリスクではありますが、既に十分割安になっていること、決算が悪くても中～長期の高配当株投資（配当の受領をメインにして持ち続ける投資）に切り替えることができることから、決算をまたいで保有していきます。

<決算またぎの結果>

- ・次期決算が好決算（◎）だった場合

目標売値：平均買値+5%に修正します。

- ・次期決算が通常決算（○）もしくは悪決算（×）だった場合

目標売値：平均買値に修正します。

平均買値に戻るまで配当金を得ながらじっくり待ちます。

信頼性がなくなった場合（事業が傾いて経常利益がマイナスになった、配当利回りが1%を切った、大規模な事故や事件・不祥事が発生したなど、長期保有する根拠がなくなった場合）は、株価に関わらず、その時点で売り切ります。

<売却方法まとめ>

前提条件				売値	結果
通常売買期 (70日間)	—	—	—	平均買値+10%	完勝
手仕舞い期 (約20日間)	株価が 平均買値以上	—	—	そのときの株価 (売り切り)	勝ちor 引き分け
	株価が 平均買値未満 (マイナス)	信頼性あり： 決算またぎ	好決算◎	平均買値+5%	勝ち
		信頼性なし： 売り切り	—	通常決算○ 悪決算×	平均買値以上の株価
				その時点の株価 (売り切り)	負け

第5章：MKTSの具体的実践方法

1. 株式投資コミュニティでの実践

※ココナラでは提供不可のサービスのため、記載を削除いたします。

2. セルフ実践

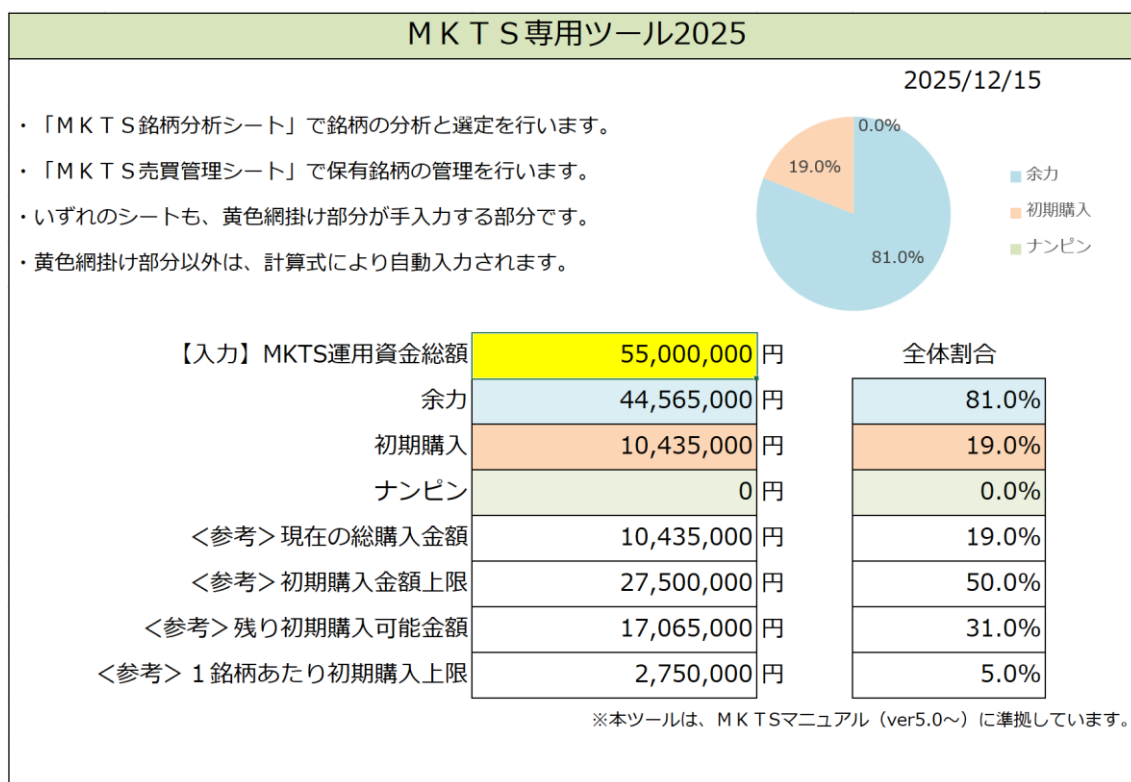
本投資法をご自身で実践する方法です。

銘柄分析や目標買値の計算をご自身で行い、売買します。

その方法を記していきます。

(1) MKTS 専用ツールの導入

こちらのセルフ実践方法は、MKTS 専用ツール（以下、専用ツール）を利用することを前提として記載します。



なお、専用ツールをご利用されない場合は、ご自身で計算ツールを作成いただくか、手計算でご実践いただくこととなります。

いずれも不可能ではありませんが、専用ツールをご利用いただくのが圧倒的に時短できると思います。

(2) 専用ツールを利用した売買方法

①買い銘柄の確認

最新版の専用ツールを開き、「MKTS 銘柄分析シート」の一番右の「買いサイン」列において、「買い！」のサインが出ている銘柄を、「目標買値」以下の株価で買います。

MKTS 銘柄分析シート										自動算出					
No.	銘柄番号	銘柄	決算月	直近決算日	年初末安からの上昇率(%)	評価点	割安度ランク	経常利益の増減(マイナスであればOK)	MKTS銘柄該当:★	目標買値	現在株価	目標買値乖離率	購入期限(70日後)=手仕舞い開始時期	手仕舞いサイン	買いサイン
120	115	6420	3月	2023/2/14	1.08			0%			4,350				
121	116	6436	3月	2023/2/1	1.20	5	Aランク	0%	★	2,175	2,517	15.7%	2023/4/12		
122	117	6448	3月	2023/2/7	1.09			5%			2,003				
123	118	6457	3月	未定	1.22			0%			2,770				
124	119	6481	12月	2023/2/13	1.18			0%			3,050				
125	120	6490	3月	2023/2/7	1.40	7	Aランク	8%	★	2,910	3,445	18.4%	2023/4/18		
126	121	6503	3月	2023/2/2	1.11			8%			1,533				
127	122	6516	3月	2023/1/31	1.41	6	Aランク	0%	★	5,635	5,660	0.4%	2023/4/11		
128	123	6592	12月	-	1.09			0%			3,770				
129	124	6616	3月	2023/2/14	1.29	3	Aランク	0%	★	2,552	2,440	-4.4%	2023/4/25	買い!	
130	125	6622	3月	2023/2/3	1.18	10	Sランク	0%	★	3,971	4,275	7.7%	2023/4/14		
131	126	6640	12月	2023/2/10	1.13			28%			1,303				
132	127	6641	3月	2023/1/31	1.08	3	Aランク	0%	★	1,226	1,696	38.3%	2023/4/11		
133	128	6718	3月	2023/2/7	1.16	8	Sランク	0%	★	1,826	1,997	9.4%	2023/4/18		
134	129	6737	3月	2023/1/31	1.08			0%			3,810				
135	130	6744	3月	2023/2/8	1.06			0%			1,649				
136	131	6789	12月	2023/2/10	1.34			7%			3,175				
137	132	6804	3月	2023/2/10	1.45			52%			1,666				
138	133	6807	3月	2023/1/27	1.22			29%			2,260				

前述の「余力確保ルール」をしっかりと守るため、余力の50%には手を付けないように注意します。

※「購入期限」が到来している銘柄（手仕舞い期が到来している銘柄）は「買い！」サインは出ないようになっています。

<アドバイス：買い対象の銘柄が10銘柄以上ある場合>

買い対象の銘柄が10銘柄以上あり、銘柄を選ばなければならない場合は、以下の条件で銘柄を選びましょう。

・割安度の評価点が4点以上、配当利回りが3%以上で、目標買値乖離率がよりマイナスな銘柄

過去実績では、目標買値乖離率がよりマイナスなものを買う方がパフォーマンスは高くなっています。

②ナンピン買い・目標売値売りの準備

買った銘柄を「MKTS 売買管理シート」に入力して、管理します。
銘柄番号を入力するだけで銘柄が表示されます。

このシートで、ナンピン買値（追加購入の買値）や目標売値がわかります。

MKTS 売買管理シート			※買値から10%減の場合			※買値から15%減の場合									
No.	銘柄番号	銘柄	初期購入			ナンピン1			ナンピン2			目標売値 (通常)			
			買値	数量	金額	買値	数量	金額	買値	買い合計	合計 株数		平均買値	現在株価	
0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1	6516	山洋電気	2023/2/1	5,635	200	1,127,000	5,071	-	-	4,789	1,127,000	200	5,635	5,660	6,199
2	4272	日本化薬	2023/2/3	1,126	1,000	1,126,000	1,013	-	-	957	1,126,000	1,000	1,126	1,196	1,239
3	7994	オカムラ	2023/2/6	1,322	900	1,189,800	1,189	-	-	1,123	1,189,800	900	1,322	1,372	1,456
4	1515	日鉄純業	2023/2/7	3,439	400	1,375,600	3,095	-	-	2,923	1,375,600	400	3,439	3,670	3,783
5	1950	日本電設工業	2023/2/9	1,472	800	1,177,600	1,324	-	-	1,251	1,177,600	800	1,472	1,523	1,620
6	7456	松田産業	2023/2/13	2,213	500	1,106,500	1,991	-	-	1,881	1,106,500	500	2,213	2,296	2,435
7	6616	トレックス・セミ	2023/2/15	2,552	500	1,276,000	2,296	-	-	2,169	1,276,000	500	2,552	2,440	2,808
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															

※保守的に実践するなら、目標売値をもう少し引き下げても問題ありません。

「MKTS 売買管理シート」でナンピン買値と目標売値を確認したら、
証券アプリなどで、以下のとおり株価アラートを設定します。

- 追加購入アラート…「ナンピン買値」の株価
- 売却アラート…「目標売値（通常）」の株価

単元株（100株単位）で購入している場合は、指値注文を出します。

- 指値買い注文…「ナンピン買値」の株価
- 指値売り注文…「目標売値（通常）」の株価

銘柄を保有している場合は、いつ急落・急騰しても対応できるように、
上記のアラートか指値注文を必ず設定してください！

<アラートの設定方法>

★SBI証券アプリの場合

1. 個別銘柄の表示画面で、 ボタンをタップする

2. 「株価アラート」を選択し、アラート条件を設定し、「登録」ボタンをタップ



★楽天証券アプリの場合



③追加購入

「ナンピン買値」まで下がったら、当該株価で追加購入します。

追加購入すると平均買値が下がるので、「目標売値（通常）」が変わります。また、次のナンピンにも備える必要があります。

よって、証券アプリなどで、以下のとおり株価アラートを変更します。

- 追加購入アラート…次のナンピン買値の株価
- 売却アラート…変更後の「目標売値（通常）」の株価

単元株（100株単位）で購入している場合は、指値注文を変更します。

- 指値買い注文…次のナンピン買値の株価
- 指値売り注文…変更後の「目標売値（通常）」の株価

<アドバイス：平均買値とは>

上記の「平均買値」は、「それまで買った価格の平均」です。

(例)

初期購入(5DMA)：100円、ナンピン1：90円、ナンピン2：85円で買った場合は、平均買値は(100円+90円+85円)÷3=91円。

この場合の目標売値は、91円×110%=101円(少数未満切上)となります。

④通常売却

「目標売値(通常)」まで上がったら、売却します。(完勝)

これで売却利益GETです！おめでとうございます！！

⑤手仕舞い売り

「目標売値(通常)」まで株価が上がらずに、「購入期限・手仕舞開始」の日を過ぎると、手仕舞い開始です。「手仕舞いサイン」が表示されます。

その日から、トントン以上で売るために平均買値～現在株価が目標売値となりますので、その株価が「目標売値(手仕舞)」として表示されます。

MKTS売買管理シート															
入力															
No.	銘柄番号	銘柄	購入期限・手仕舞開始	平均買値	現在株価	目標売値(通常)	目標売値(手仕舞)	目標売値(またぎ)	手仕舞いサイン	売却時期	売値	数量	売り合計	売却益	増加率
0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	6516	山洋電気	2023/2/20	5.635	5.660	6.199	-	-	-	2023/2/28	5.660	200	1,132,000	5,000	0.44%
2	4272	日本化薬	2023/2/20	1.126	1.196	1.239	1.195	-	手仕舞い	-	-	-	-	-	6.22%
3	7994	オカムラ	2023/2/23	1.322	1.372	1.455	1.371	-	手仕舞い	-	-	-	-	-	3.78%
4	1515	日鉄鉱業	2023/2/26	3.439	3.670	3.763	3.669	-	手仕舞い	-	-	-	-	-	6.72%
5	1950	日本電設工業	2023/2/20	1.472	1.523	1.620	1.522	-	手仕舞い	-	-	-	-	-	3.46%
6	7456	松田産業	2023/3/2	2.213	2.296	2.435	-	-	-	-	-	-	-	-	3.75%
7	6616	トレックス・セミ	2023/3/6	2.552	2.440	2.808	-	-	-	-	-	-	-	-	-4.39%
8															
9															
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															

よって、証券アプリなどで、以下のとおり株価アラートを変更します。

- 売却アラート…変更後の「目標売値(手仕舞)」の株価

単元株(100株単位)で購入している場合は、指値注文を変更します。

- 指値売り注文…変更後の「目標売値(手仕舞)」の株価

※「手仕舞い期」に入っても、ナンピンは通常通り行います。

よって、ナンピンに関してはアラートと指値買い注文もそのままです。

「目標売値（手仕舞）」まで上がったら、売却します。（勝ち or 引分け）

これで決算またぎせず手仕舞い（売却）できました！バッチリです！

⑥決算またぎ

平均買値（トントン）まで株価が戻らずに、決算発表日を迎えた場合は、保有継続して「決算またぎ」をします。

決算またぎはリスクではありますが、既に十分割安になっていること、決算が悪くても中～長期の高配当株投資（配当の受領をメインにして持ち続ける投資）に切り替えることができることから、決算をまたいで保有していきます。

決算またぎをしたら、結果を専用ツールの「決算またぎ状況」に入力します。

- ・好決算だった場合（◎）
- ・通常決算（変更なし）だった場合（○）
- ・悪決算だった場合（×）

	A	B	C	G	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AV
1	MKT S 売買管理シート										
2		入力									
3	No.	銘柄番号	銘柄	購入期限・手仕舞開始	平均買値	現在株価	目標売値（通常）	目標売値（手仕舞）	目標売値（またぎ）	手仕舞いサイン	決算またぎ状況
4											
5											
6	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	1	6516	山洋電気	2023/2/20	5,635	5,660	6,199	-	-	-	-
8	2	4272	日本化薬	2023/2/20	1,126	1,196	1,239	1,195	1,182	手仕舞い	◎
9	3	7994	オカムラ	2023/2/23	1,322	1,372	1,455	1,371	1,322	手仕舞い	○
10	4	1515	日鉄鉱業	2023/2/26	3,439	3,670	3,783	3,669	3,439	手仕舞い	×
11	5	1950	日本電設工業	2023/2/20	1,472	1,523	1,620	1,522	-	手仕舞い	
12	6	7456	松田産業	2023/3/2	2,213	2,296	2,435	-	-		
13	7	6616	トレックス・セミ	2023/3/6	2,552	2,440	2,808	-	-		

すると、「目標売値（またぎ）」欄に株価が表示されます。

当該株価が、以降の目標売値となります。

目標売値となるまで、配当金を得ながらじっくり待ちます。

よって、証券アプリなどで、以下のとおり株価アラートを変更します。

- ・売却アラート…変更後の「目標売値（またぎ）」の株価

単元株（100 株単位）で購入している場合は、指値注文を変更します。

- ・指値売り注文…変更後の「目標売値（またぎ）」の株価

なお、当該銘柄に信頼性がなくなった場合（事業が傾いて経常利益がマイナスになった、配当利回りが 1%を切った、大規模な事故や事件・不祥事が発生したなど、長期保有する根拠がなくなった場合）は、株価に関わらず、その時点で売り切ります。

⑦決算またぎ後の売却

「目標売値（またぎ）」で、売却します。（勝ち or 引分け or 負け）
長期間保有しましたが、無事、売却できました！お疲れ様でした！



<アドバイス①：単元未満株での実践>

単元未満株では、指値注文ができません。一定時点の株価で売買されます。

「それだと、狙った株価で購入できない！」と思うかもしれませんが、やりかたはあります。以下の方法で実践すれば、（手間にはなりますが）問題なく実践できるはずです。

<単元未満株で実践する方法>

①決算発表日に注文を入れない（株価が大きく動くため）

②買うときは目標買値－2%になったら注文を入れる

※売るときは目標売値になったら注文を入れることでOKです。

SBI証券のS株なら、よりリスクを抑えられます。

以下の「★」の時間帯を狙うと良いです。

注文時間…00:00～07:00 ⇒09:00に約定

注文時間…07:00～10:30 ⇒12:30に約定 ★

注文時間…10:30～14:00 ⇒15:30に約定 ★

注文時間…14:00～24:00 ⇒翌営業日09:00に約定

発注時刻	0:00	7:00	9:00	10:30	12:30	14:00	15:30	24:00
約定価格 (約定タイミング)		当日前場始値 (9:00約定)	当日後場始値 (12:30約定)	当日後場引け(終値) (15:30約定)			翌営業日前場始値 (翌9:00約定)	

(SBI証券での具体的な実践例)

専用ツールで「買いサイン」が出ている銘柄を確認する。

⇒9:00～当該銘柄の値動きを見る。

⇒目標買値以下（できれば余裕をもって目標買値－2%）であれば、10:30または14:00までに買い注文を入れる。

⇒12:30または15:30の株価で約定する。

<アドバイス②：NISA（成長投資枠）での長期運用>

NISAの最終目標ゴールは、1,800万円分、投資信託の積立を行って運用し続けることです。年間360万円を積み立てることができれば、最短5年で積立完了します。

しかし、夫婦2人であれば、年間720万円、合計3,600万円です。そんなに多くの金額を一気に積み立てられる人はほとんどいないでしょう。

よって、つみたて投資枠の120万円を使って少しずつ積立していき、成長投資枠の240万円の枠はMKTSを実践していきましょう。

その場合、せっかくの非課税枠ですので、できればプラマイゼロで手仕舞いして終わらせたくないですね。

よって、NISAでMKTSを実践するときは、手仕舞い期で手仕舞いせず、目標売値を狙う期間を延長して、+10%になるまで配当を得ながら長期運用する（疑似の高配当株投資をする）という方法もオススメです。

ただし、その長期運用分については資金が拘束されます。

それにより新規購入ができなくなるのであれば、素直に手仕舞いしましょう。その資金で新たな好決算銘柄に投資していく方が効率的です。

例えば、投資用資金が500万円あり、1年目で240万円買ったとします。その銘柄が+10%に達することなく長期運用していても、2年目に240万円買えます。そのような場合は、長期運用してもOKです。

逆に、投資用資金が240万円で、1年目で240万円買ったとします。その銘柄が+10%に達することなく長期運用していたら、2年目に銘柄を買う余力がありませんので、その場合は素直に手仕舞いしましょう。

＜アドバイス③：株式分割があった場合の専用ツールの修正＞

株式分割とは、会社が自身の株式について、1株を数株に分割することです。分割することで、投資家が買いやすくすることが主な目的です。分割した株の分だけ、保有者に割り当てられます。

例えば、このような株を保有しているとします。

MK商事 5,000円/株 100株保有
予想EPS：500円/株
配当：200円/株
BPS：4,000円/株
年初来安値：3,000円/株

MK商事が1株につき5株の割合で分割する場合、各種数値は以下のとおりとなります。

MK商事 1,000円/株 500株保有
予想EPS：100円/株
配当：40円/株
BPS：800円/株
年初来安値：600円/株

上記の変更に伴い、MKTS専用ツールの銘柄分析シート、売買管理シートの数値を修正します。（面倒ですが・・・><）

なお、予想EPSについては、過去の方も遡ってすべて修正しましょう。

<アドバイス④：逆指値売り注文の活用（応用）>

※応用的な内容であり、無理に実践する必要はありませんが、利益を大きくできる可能性がありますので、チャレンジしてみてください！

逆指値注文とは、

「指定した株価Aまで上がったなら指定した株価Bで買う」もしくは

「指定した株価Aまで下がったら指定した株価Bで売る」

という注文方法です。

それを、手仕舞い期の含み益が出ている銘柄の手仕舞い（売却）のときに使うことで、比較的安全に、利益を増やす可能性にチャレンジできます。

やり方は以下のとおりです。

- ①手仕舞い期が到来した含み益のある銘柄の「終値」を確認する。
- ②逆指値売り注文：「トリガー価格：終値－1円、売値：平均買値」
意味：「終値－1円（＝トリガー価格）まで下がったら平均買値で売る」
- ③翌日、トリガー価格まで一度も下がらずに上がり続けたら約定しない。
- ④当該銘柄の「終値」を確認する。
- ⑤逆指値売り注文を出し直す。
逆指値売り注文：「トリガー価格：終値－1円、売値：平均買値」
・・・以下、これを繰り返し、約定するまで続ける。

（例）

1/20 日中：平均買値 1,000 円、終値 1,050 円、手仕舞い期突入
1/20 の夜：逆指値注文「1,049 円になったら 1,000 円で売る」と設定
1/21 日中：1,049 円まで下がらずに 1,080 円まで上がる
1/21 の夜：逆指値注文「1,079 円になったら 1,000 円で売る」に修正
1/22 日中：1,079 円以下になる⇒その時点の株価で売り約定
⇒通常通り手仕舞いした場合に比べて、利益アップ！

<アドバイス⑤：決算またぎチャレンジ時の注文取消（応用）>

※応用的な内容であり、無理に実践する必要はありませんが、利益を大きくできる可能性がありますので、チャレンジしてみてください！

保有銘柄が含み損で手仕舞いできず、そのまま決算発表当日を迎える場合、証券取引所の取引時間（9:00～15:30）に決算発表がされると、好決算だった場合でも手仕舞い（トントンの）で売れてしまうことになります。



例：5/12の14:00に決算が発表され、好決算により株価高騰しますが、手仕舞い売り注文（トントンの2,000円）で約定してしまった例です。

その対策として、「決算発表日になったら手仕舞い売り注文を一旦取り消す」というテクニクを使うこともできます。

どうせ決算またぎにチャレンジするのであれば、好決算だった時の利益も教授しようという考え方です。

もし実践する場合は、保有銘柄については、決算発表日を事前に確認しておき、決算発表日になったら手仕舞い売り注文はキャンセルしましょう。

決算発表日の確認や注文の変更は手間になりますし、リスクも増えますので、挑戦できそうな方のみやってみましょう。

(3) 専用ツールのメンテナンス

① 株価データの取り込み（毎日）

日々、専用ツールに株価データを取り込みます。

ア. 専用ツールの「株価一覧（適宜更新）」タブを開きます。

イ. 最新の株価情報をCSV等で出力します。

私は、SBI証券の「銘柄スクリーナー」を使っています。

別サイトから取得したデータでも問題ないですが、SBI証券なら口座開設さえすれば無料で利用できるの、利用を推奨します。

＜SBI証券の「銘柄スクリーナー」の使い方＞

銘柄スクリーナーで、条件を絞らずに、全銘柄を表示します。「CSVダウンロード」から当日の銘柄一覧と株価のデータをダウンロードできます。

The image shows two side-by-side screenshots. The left screenshot is the SBI証券 (SBI Securities) '銘柄スクリーナー' (Stock Screener) interface. It displays search filters on the left, search results in the middle, and a 'CSVダウンロード' (Download CSV) button highlighted with a red box. The right screenshot shows a spreadsheet of the downloaded stock data. The spreadsheet has columns for 'コード' (Code), '銘柄名' (Stock Name), '市場' (Market), '現在値' (Current Price), and '前日比(%)' (Change %). The data includes various stock codes and their corresponding market information and price changes.

ウ. 「株価一覧（適宜更新）」に貼り付けます。「コード」「現在値」の位置は必ず合わせるようにします。日付の更新も忘れずに行いましょう。

②決算スケジュールの更新（3ヶ月に1回）

決算月が3、6、9、12月の銘柄は、8月、11月、2月、5月に決算発表があるため、その1ヶ月前を目途に次期の決算スケジュールを更新します。

7月、10月、1月、4月になったら、JPX（日本取引所グループ）のHPの中の「決算発表予定日」を確認します。

2024年3月期本決算・2024年9月期第2四半期決算における翌営業日の開示予定会社はございません。
No companies are scheduled to disclose on the following business day their earnings results for the fiscal year ending in March 2024 or their Q2 earnings results for the fiscal year ending in September 2024.

※ 毎営業日午後5時頃を目途に、3月期・9月期決算会社の本決算・四半期決算について翌営業日分を更新いたします。

2024年4月に四半期末又は期末を迎えた会社 (2024年6月6日時点) Companies whose end of quarters or fiscal years in April 2024 (as of 2024/6/6)	📄
2024年5月に四半期末又は期末を迎えた会社 (2024年6月20日時点) Companies whose end of quarters or fiscal years in May 2024 (as of 2024/6/20)	📄

※ 対象となる期末の翌月の上旬に掲載し、その後運賃情報を更新いたします。

※ これらの資料は、東京証券取引所（以下「東証」という）の上場会社から連絡のあった発表予定に基づき作成したものです。実際には、これらの資料に掲載されていない会社が決算の発表を行うことがあること、また、これらの資料に掲載されている会社についても、その後の予定の変更等により、これらの資料とは異なる日付で決算の発表を行うことにご注意ください。なお、東証は、これらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。

※ 上場会社から連絡のあった発表予定につきましては、毎日夜間に更新される「東証上場会社情報サービス」サイトでもご覧いただけます。

● 東証上場会社情報サービス利用案内

- ・7月 … 「6月に四半期または期末を迎えた会社」の決算発表予定日
- ・10月 … 「9月に四半期または期末を迎えた会社」の決算発表予定日
- ・1月 … 「12月に四半期または期末を迎えた会社」の決算発表予定日
- ・4月 … 「3月に四半期または期末を迎えた会社」の決算発表予定日

上記から決算発表予定日の一覧を Excel データで出力し、専用ツールの「決算発表スケジュール貼り付け」タブにそのまま貼り付けます。

上記データを取り込むことで、「MKTS 銘柄分析シート」の「直近決算日」が自動で表示されます。

「未定」や「-」となっている銘柄は、証券アプリやサイト等で決算予定日を確認し、手作業で入力しましょう。

③決算データの更新・分析（3ヶ月に1回）

各銘柄の決算発表日に、決算短信をチェックします。

大事な作業になりますので、可能な限り当日に行ってください。

チェックの方法は任意ですが、私は、見やすいので楽天証券のWebサイトで確認しています。

ア. 決算が出たら、予想EPSを入力します。「年度末予想EPS」を「MKTS銘柄分析シート」の該当箇所に入力します。

イ. MKTSルールのとおり、好決算判定を行います。

ウ. 好決算銘柄に該当する場合は、「MKTS銘柄分析シート」の「好決算銘柄」欄に「◎（新規）」または「○（継続）」をマークします。

◎や○がつかなかった銘柄は、そこで分析完了です。（今期は対象外）

エ. 好決算判定した場合、「好決算期間開始日」に決算発表日を入力します。

オ. 予想EPSを改めて入力します

カ. 予想年間配当金を入力します。

キ. 増益前・増益後の年間予想経常利益 or 営業利益を入力します。

EPSが増加となり「好決算銘柄」に該当していたとしても、それが一時的な特別利益（不動産などの固定資産売却益等）によるところが大きいとしたら、企業の本来の収益性には疑問が残るということになります。

よって、特別利益に左右されない「経常利益」（開示していない場合は「営業利益」）の増減により判断します。

今回発表の年間予想経常利益（営業利益）が前回発表よりも10%を超えてマイナスになっていなければ、問題なしとします。

<決算短信の例>

令和4年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年9月27日

上場会社名 株式会社しまむら 上場取引所 東
 コード番号 8227 URL https://www.shimamura.gr.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 鈴木 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 企画室長 (氏名) 太田 誠利 TEL 048-631-2131
 四半期報告書提出予定日 令和3年9月28日 配当支払開始予定日 令和3年10月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年2月期第2四半期の連結業績（令和3年2月21日～令和3年8月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年2月期第2四半期	284,592	11.9	25,342	58.6	25,835	57.8	17,427	65.6
3年2月期第2四半期	254,253	△3.8	15,976	11.3	16,371	12.2	10,525	9.5

(注) 包括利益 4年2月期第2四半期 17,628百万円 (42.6%) 3年2月期第2四半期 12,360百万円 (31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年2月期第2四半期	474.22	—
3年2月期第2四半期	286.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年2月期第2四半期	455,254	397,618	87.3
3年2月期	451,798	384,388	85.1

(参考) 自己資本 4年2月期第2四半期 397,618百万円 3年2月期 384,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年2月期	—	100.00	—	120.00	220.00
4年2月期	—	110.00	—	—	—
4年2月期（予想）	—	—	—	110.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

②年間配当金

3. 令和4年2月期の連結業績予想（令和3年2月21日～令和4年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,520	5.1	45,684	20.1	46,647	18.4	31,239	19.4	850.04

年間予想

③予想経常利益 ①予想EPS

ク。BPS、年初来安値を入力します。
「BPS」、「年初来安値」を調べ、入力します。
私は、「トレーダーズ・ウェブ」を使っています。

しまむら

8227 / 東証プライム / 小売業

▲ 11,105 -50 (-0.45%)

株価 : 2025/12/15 15:30 15分ディレイ

株価
ニュース
チャート
時系列
テクニカル
トレンド分析
業績
財務

株価チャート

[詳細>](#)

株価データ

2025/12/15 15:30 更新

始値	11,105
高値	11,205
安値	11,075
前日終値	11,155
VWAP	11,128.5
Tick回数	660
年初高値(08/12)	11,575
年初安値(03/11)	8,240
出来高	227,600 (+32.25%)

企業データ

特色	低価格の実用・ファッション衣料。仕入れ主体。ローコスト運営。ベビー業態「パースデイ」も
URL	http://www.shimamura.gr.jp/

投資データ

[詳細>](#)

2025/12/15 15:30 更新

PER	19.05倍
PBR	1.58倍
ROE	8.61%
EPS	582.94
BPS	7,028.48

決算発表予定日

[一覧>](#)

発表予定日	時刻	決算	連単
2025/12/22	-	3Q	連

信用取引データ

信用取引
2025/12/09 更新

ケ. 決算日の5DMAを入力します。

5DMAとは、「5日間の（単純）移動平均」です。MA（5）と表記されていることもあります。トレーダーズ・ウェブや証券会社アプリのチャートなどを見て確認しましょう。

証券会社アプリでは、移動平均が「5日間」以外になっている可能性もあるので、表示設定を確認しましょう！



コ. 買いサインの出現

割安度ランクがSランクもしくはAランクであり、経常利益（営業利益）の増減率が10%を超えてマイナスでなければ、買い銘柄となります。

専用ツール上では、「MKTS 銘柄」欄に「★」が表示されます。

また、目標買値が自動表示されます。

※銘柄購入後、ナンピンが発生した場合は、目標買値は「平均買値」に手書きで修正します。

④MKTS 候補銘柄の選定（年1回・6月）

銘柄選定は、原則として6月に行います。

理由としては、最も数が多い3月決算の銘柄について、年度末決算が5月に発表されるので、当該結果を加味したいからです。

上場しているすべての銘柄のうち、財務安全性が高く、多く取引されている優良企業のみを絞り込みます。同時に、財務不振な企業や理外の値動きをする企業を排除します。

ア. 銘柄のスクリーニング

MKTS 候補銘柄の条件で、SBI 証券または楽天証券の「スクリーナー」で抽出します。（おすすめては SBI 証券）

<MKTS 候補銘柄の条件>（再掲）

- 東証プライム市場上場企業
- B P S：1,000 円以上
- 自己資本比率：50%以上
- 平均売買代金（20 日平均）：100,000 千円以上
- 当座比率：120%以上
- P B R：1.5 倍以下（200 銘柄程度になるように調整）
- 決算月：3、6、9、12月

200 件程度の銘柄が出てくると思います。

※より銘柄数を増やしたい場合は、「⑥PBR」の値を上げていき、より銘柄数を絞りたい場合は、「⑥PBR」の値を下げていくとよいです。

<SBI証券のスクリーナーのイメージ>

検索条件

基本条件

市場

東証P (22)
 東証S (20)
 東証G (0)
 東証ETF (0)
 東証REIT (0)
 地方市場 (0)
 その他 (0)
 すべて選択する

規模

大型株 (7) 中型株 (59)
 小型株 (156)

採用指数

日経225 TOPIX100
 JPX日経400

業種

すべての業種選択中

業種選択

詳細条件

PBR(株価純資産倍率)(f) x

-58.48 - 1.50

BPS(1株当たり純資産)(f) x

1000.00 - 517482.13

自己資本比率(%) x

50.00 - 98.11

当座比率(%) x

120.00 - 12889.66

平均売買代金(千円) x

20日

100000.00 - 264237978.0

決算月 x

1月 2月 3月
 4月 5月 6月
 7月 8月 9月
 10月 11月 12月

+ 検索条件を追加

検索結果

Myスクリーナーに保存 検索結果表示 ON

該当銘柄リスト 該当銘柄詳細分析 [CSVダウンロード](#)

該当銘柄222件 1ページ目(1~50件表示) 全条件をクリア 50件表示

最終更新日時: 2023年09月14日 10:14 最初へ 前へ 1 2 3 4 5 次へ 最後へ

コード	銘柄名	市場	現在値 前日比(%)	PBR(株価純 資産倍率)(f)	BPS(1株当 り純資産)(円)	自己資本比 率(%)	当座比率(%)	平均売買代 金(千円)
5482	愛知製鋼	東P	4,220 +85.0 (+2.06%)	0.41	10,328.59	52.86	172.73	405.8
6794	フォスター電機	東P	946 +12.0 (+1.28%)	0.41	2,302.49	55.02	126.53	126.0
5541	大平洋金属	東P	1,525 +1.0 (+0.07%)	0.41	3,678.95	91.02	1,175.50	592.5
4078	堺化学工業	東P	2,085 +18.0 (+0.87%)	0.42	4,970.11	62.87	143.57	102.2
4676	フジメディアHLDG	東P	1,596 +5.5 (+0.35%)	0.42	3,766.83	60.59	195.75	611.4
9404	日本テレビHLDG	東P	1,396 +13.5 (+0.98%)	0.43	3,280.34	80.81	222.36	552.2
9409	テレビ朝日HLDG	東P	1,724 +12.0 (+0.70%)	0.45	3,870.24	79.42	247.38	252.1
6463	TPR	東P	1,859 -6.0 (-0.32%)	0.47	3,973.64	50.53	134.77	111.0
5214	日本電気硝子	東P	2,667 +18.0 (+0.68%)	0.47	5,635.53	70.11	128.59	1,462.2
6142	リブマウス	東P	735 +30.0 (+1.43%)	0.47	1,548.98	58.46	167.37	184.0
5408	中山製鋼所	東P	980 +8.0 (+0.82%)	0.55	1,789.14	65.10	175.16	820.3
9401	TBSHLDG	東P	2,591 +28.0 (+1.09%)	0.55	4,726.87	73.11	181.34	911.9
6339	新東工業	東P	1,112 +4.0 (+0.36%)	0.55	2,020.40	61.73	223.77	133.2
4634	東洋インキSC HLDG	東P	2,361 +29.0 (+1.24%)	0.57	4,135.76	53.27	142.48	299.6
5451	淀川製鋼所	東P	3,575 -20.0 (-0.56%)	0.57	6,228.14	71.57	288.33	234.8
7278	エクセディ	東P	2,770 +12.0 (+0.44%)	0.58	4,803.84	67.97	212.47	376.7
7296	エフ・シー・シー	東P	1,947 -17.0 (-0.87%)	0.60	3,218.63	75.99	259.71	256.9
4114	日本軸媒	東P	5,588 +43.0 (+0.78%)	0.61	9,213.79	69.22	155.45	352.3
7744	ノーリツ鋼機	東P	3,340 +10.0 (+0.30%)	0.62	5,399.11	62.66	167.54	812.8
4471	三洋化成工業	東P	4,165 +0.0 (+0.00%)	0.63	6,617.08	72.25	138.43	162.9
3388	明治電機工業	東P	1,458 +8.0 (+0.55%)	0.63	2,306.50	56.82	165.70	116.8
7226	極東開発工業	東P	1,841 -6.0 (-0.32%)	0.63	2,910.34	70.52	241.95	109.5
5943	ノーリツ	東P	1,592 +0.0 (+0.00%)	0.63	2,509.77	53.13	124.57	160.1
7250	太平洋工業	東P	1,488 -8.0 (-0.53%)	0.64	2,310.72	53.37	128.37	197.6
4619	日本特殊塗料	東P	1,373 +8.0 (+0.59%)	0.65	2,125.03	56.31	135.08	115.4
6617	東光高岳	東P	2,158 -2.0 (-0.09%)	0.65	3,329.45	50.59	139.75	140.9
6371	積本子エイン	東P	3,970 -40.0 (-1.00%)	0.66	6,059.46	64.88	192.37	239.7
5976	高周波熱線	東P	1,033 +4.0 (+0.39%)	0.66	1,575.07	74.35	300.92	128.5
1518	三井松島HLDG	東P	2,828 -12.0 (-0.42%)	0.66	4,292.79	58.70	208.73	885.2
4636	T&K TOKA	東P	1,464 +63.0 (+4.50%)	0.67	2,177.86	71.65	129.29	168.8
1941	中電工	東P	2,452 -4.0 (-0.16%)	0.67	3,639.86	73.16	223.31	115.9
7240	NOK	東P	2,084 +4.0 (+0.19%)	0.68	3,082.93	60.55	153.59	648.2

- 56 -

イ. 「CSVダウンロード」から、スクリーニング銘柄をダウンロードし、専用ツールの「MKTS 候補銘柄選定」タブに貼り付けます。

(貼り付ける際は、専用ツールのデータを壊さないように「数式のみ貼り付け」を推奨します。)

ウ. 新しい銘柄を「MKTS 銘柄分析シート」に掲載します。

既存の行をコピー&ペーストして、新しい情報を上書きしましょう。

決算月の設定や、過去の決算データについても入力します。

たまたま、予想 EPS を開示していない銘柄もあるので、そのような銘柄はこの時点で除外します。

この作業を1年に1回行い、MKTS 候補銘柄の一覧を更新します。

大変ですが、年1回の作業となるので、頑張って対応しましょう。

第6章：よくある質問



Q1：MKTSでは、損切りはしないのでしょうか？

A1：MKTSにおいて、一般的な「損切り」を行うことはありません。なぜなら、MKTSで購入するのは、「優良企業」であり、「好決算銘柄」であり、「割安」であり、「実力に対して株価が低い状態」の銘柄のみだからです。この銘柄の株価がさらに下落した場合は、バーゲンセール状態です。このときは、売る（損切りする）べきではなく、むしろ買うべきなのです。ただし、あまりあることではないですが、購入した銘柄の企業が致命的な不祥事等（事件等）を発生させた場合は、「優良企業」という前提が崩れますので、その時点で売却すべきです。MKTSにおいて「損切り」としたら、このような場合のみです。

Q2：ナンピンはよくないことなのでは？

A2：世間では、「ナンピンはよくない」と言われることがあります。これは、銘柄をよく選定せずに「上がるか下がるかわからない銘柄」を購入しているからです。MKTSでは、上述してきたとおり、銘柄をかなり選定・判定して購入しますので、「上がって当然の銘柄」しか購入しません。その銘柄の株価が下落したということは、「良品のバーゲンセール状態」ですので、買いの一手なのです。よって、MKTSにおけるナンピンは、何も考えずに行う一般的なナン

ピンと区別して、「戦略的ナンピン」と考えていただければOKです。

Q3：リターンは10%以上狙ってはいけませんか？

A3：株価がどこまで上がるのかは正に「神のみぞ知る」ことであり、もちろん10%以上株価が上がることはあります。しかし、10%に到達して以降、また下がる株も多くありますので、10%で一旦売って、下がったらまた買えばよいのです。これまでの実績と経験を鑑みると、10%で利益を確定することが最も利益を得られると判断したので、MKTSではリターンは10%と決めています。ただ、利益幅は小さくとも、もっと確実な勝ちを求めるのであれば、5~9%くらいで設定することは問題ないかと思います。

Q4：信用取引はしてはいけませんか？

A4：MKTSでは、基本的に現物取引を推奨します。現物取引とは、保有している資金（余力）を使って購入する通常の方法です。一方で、信用取引とは、いわば証券会社からお金を借りて、保有している資金（余力）以上に購入し、差金決済を行う方法です。信用取引を行う場合は、期日が設けられていること、株価が下落した場合は追加資金を入れないと強制売却（ロスカット）されてしまうことから、MKTSの趣旨には合いません。ただし、MKTS銘柄を購入後、ナンピン3~4の段階となり（株価が下がりきっており）、かつ資金が潤沢にあるという場合は、レバレッジ効果を期待して信用買いで大量購入することで、リターンを飛躍的に上昇させることが可能です。リスクを伴う方法になりますので、実践する場合は慎重に。

Q5：株式投資判断になぜ予想EPSを使うのでしょうか？

A5：MKTSで購入する銘柄は漏れなく「好決算銘柄」であり、「好決算銘柄」の判定方法は予想EPSで判断します。ではなぜ、MKTSでは株式投資判断に予想EPSを用いるのでしょうか。その理由は単純で、EPSと株価は正の相関があるからです。つまり、どの株でも長期的に見ればEPSが上がると株価が上がり、EPSが下がると株価が下がるのです。投資家は企業の価値を利益獲得能力、とりわけ当期純利益（EPS）の多寡で判断しているとも言えます。また、投資家は投下した資金をいくらで回収できるのか（利回り）に大きな関心を示

します。EPS が上がれば配当も上がる可能性がありますので、それだけ買いがつくというわけです。

Q6：企業が、突然決算予想修正を発表した場合はどうするのでしょうか？

A6：企業において、時折、通常のタイミングとは別に決算報告（決算予想修正）を行うことがあります。それは予想不可ですので、仕方ナシです。修正結果が株価に反映されると思いますので、即座に報告内容を確認し、決算発表当日と同じ対応を行いましょう。ただし、突然の予想 EPS の下方修正の例は多くないので大丈夫です。

Q7：日経平均株価が連日下がっており、購入しようと思っている買いサイン銘柄の株価も連日下がっている場合、いつ購入すればよいでしょうか。また、日経平均株価が下がっていている場合は、どのような心持ちでいればいいのでしょうか？不安になります。

A7：買いサインが出ているものは、そのときに買ってしまっても大丈夫です！なぜなら、日経平均が明日上がるのか下がるのかは誰にもわからないからです。様子を見るのも一手ですが、じゃあいつまで待つのかということにもなります。一度買ったあと、下がったら追加購入すればよく、そのために余力確保しているのです！大事なことは、余力をしっかりと確保して、株価が下がったらしっかり購入していくこととなります。逆に株価が下がる＝バーゲンセール状態で、たくさん追加買える（＝資金を効率的に運用することができる）ので、ラッキー！と余裕な気持ちで眺めていましょう。配当もあるし、上がるまで配当もらいながら待とう、という考えです。私も同じ方法で実践しているので、不安があったら連絡してください！

Q8：専用ツールのデータ更新は難しいですか？時間はかかりますか？

A8：専用ツールのデータ更新は本マニュアルにすべてやり方を載せていますし、決して難しくはありませんが、以下のような時間がかかります。

- ・ 株価更新…毎日、1～5分程度
- ・ 決算データの更新…3ヶ月に1度、30分～1時間を2週間程度
- ・ 銘柄選定・入替え…1年に1度、2～3時間

面倒に思うかもしれませんが、逆に言えば、個別株投資で負けないためにはこれくらいの時間をかけて分析する必要があるということです。ぜひチャレンジ

してみてください！

Q9：資金はどれくらい準備すればいいですか？

A9：1万円からでも実践自体は可能です。ですが、理想としては最大限の資金を準備するのが望ましいです。なぜなら、投下できる金額（余力）が多ければ多いほど、購入した株の株価が下落したときに追加購入できるので、負けにくいからです。また、投下資金が多いほど、同じ利益率に対するリターンが大きくなります。投資資金はできるだけ増やしていきましょう。

ただし、日々の生活費や必要な貯金には手を出さないように注意です！

Q10：証券会社はどこを使えばいいですか？

A10：SBI証券、楽天証券のいずれかがオススメです。

私はどちらも開設していて、SBI証券はスクリーナー用と取引用に、楽天証券はチャート分析用に使っています。以下、それぞれの特徴を記載します。

（1）SBI証券

- 証券口座…SBI証券
- 証券用銀行口座…住信SBIネット銀行
- 売買ツール…SBI証券株アプリ（スマホアプリ）

＜SBI証券のメリット＞

- 単元未満株（SBI証券ではS株）でリスクを抑えられる

例えば、1株1,000円の株は、通常単元の100株だと100,000円の余力が必要ですが、単元未満株（S株）だと1株（1,000円）から購入できます。指値注文はできず、成行注文となりますが、SBI証券は注文できるタイミングが多くてリスクを抑えられます。

- 個別株の売買手数料が無料

- 住信SBIネット銀行が便利

住信SBIネット銀行をが大変便利です。日本中のほとんどのATMで取り扱っていて、コンビニATMでも手数料が月数回無料です。スマホアプリも見やす

くて気に入っています。

- ・三井住友カードでのクレカ積立時に付与されるポイントが大きいです！

<SBI証券のデメリット>

・個人的にですが、ページ（資産状況・運用状況・運用成績）が若干見づらいです。

（2）楽天証券

- ・証券口座…楽天証券
- ・証券用銀行口座…楽天銀行
- ・売買ツール…MarketSpeed（インターネットサイト／アプリ）

<楽天証券のメリット>

・单元未満株（楽天証券ではかぶミニ）が利用できます！一部の銘柄についてはリアルタイムで取引ができます。

・売買ツールのMarketSpeedが使いやすく便利です。指定の銘柄が指定の株価になったときに教えてくれるアラート機能も必須です。

- ・個別株の売買手数料が無料です！

・楽天銀行が便利です。楽天証券の場合、楽天銀行を開設することになりますが、この口座も便利です。日本中のほとんどのATMで取り扱っていて、コンビニATMでも手数料が月数回無料です。

- ・個人ページ（資産状況・運用状況・運用成績）が見やすいです。

<楽天証券のデメリット>

・单元未満株（かぶミニ）のリアルタイム取引だと手数料がかかります。
・单元未満株（かぶミニ）の寄付取引だと買えるタイミングが1日1回（寄付のタイミング）しかなく、買いづらいです。

《ご注意事項》

※本マニュアルについては、無断転売・転用を禁じます。

※本マニュアルは、今後の研究・実践により、変更する可能性があります。

※本サービスは一般的な株式投資方法の提示であり、特定の金融商品を勧める投資助言行為には該当しません。

※最終的な投資決定は、ご自身の判断となります。いかなる投資結果の責任もご自身で負う旨、ご理解・ご了承ください。

《奥付》

MKTS マニュアル（株式投資法）

～株式投資で負けないための堅実な実践ルールブック～

2021年06月01日 ver1.0 発行

2022年01月07日 ver2.0 更新

2022年04月28日 ver3.0 更新

2024年01月01日 ver4.0 更新

2025年12月15日 ver5.0 更新

2026年05月01日 ver5.1 更新

発行者：森田ケイ（元：カブノマコト）

